

令和4年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【恵庭市小・中学校における調査結果（報告）】



令和5年3月
恵庭市教育委員会

◆ 目 次 ◆

1. 調査の概要	P 1
2. 用語の解説と説明	P 2
3. 調査結果の掲載方法	P 3
4. 北海道の調査結果について	P 3
5. 実技の結果	P 4
小学校	
中学校	
6. 体格と肥満度に関する調査結果	P 8
小学校	
中学校	
7. 児童生徒質問紙調査の結果	P 1 2
小学校（児童）	
中学校（生徒）	
8. 学校質問紙調査の結果	P 2 0

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【恵庭市における調査結果の状況】

1 調査の概要

① 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

恵庭市は全国、全道的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。なお、令和4年度も令和3年度同様、全学校を対象として調査を実施する。

学校では各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

② 調査の対象学年

- ・小学校第5学年
- ・中学校第2学年

③ 調査の内容

I. 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という）測定方法等は新体力テストの方法による〔小学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）

II. 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）

④ 調査期間

令和4年4月から令和4年7月までの期間で実施

⑤ 参加状況（調査を受けた学校数、児童生徒数）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
恵庭市	8校	586人	5校	549人
全国	18,435校	973,545人	9,192校	857,594人
全道	980校	38,085人	597校	35,278人

2 用語の解説と説明

体カテスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m, 女子1000mの走行時間 (中学校選択)
	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数 (小学校・中学校選択)
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離 (小学校)
	ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離 (中学校)
体力合計点		点	8種目の体カテスト成績を1点から10点に得点化して総和した体カテスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体カテストをすべて実施した場合、体カテスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数。
平均値	調査結果 (テスト成績) の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値 = 調査結果の総和 / 標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値 ± 標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値 ± 標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る (いずれも正規分布の場合) 「標準偏差 = 分散の平方根、分散 = 偏差平方和 / (標本数 - 1)、 偏差平方和 = 偏差の平方の総和、偏差 = 調査結果 - 平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点 = 50 + 10 × (調査結果 - 平均値) / 標準偏差」

※公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

【標準体重と肥満度判定】

「児童・生徒の健康診断マニュアル (改訂版)」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

■標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10 (小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13 (中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

■判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-20 ~ -29.9%	やせ
-30%以下	高度やせ

3 調査結果の掲載方法

全道・全国平均値との比較として、「記号」や「文言」で表します。

1. 「cm・m・kg・回・点・秒」の比較、表示方法

ポイント差	文言	記号
+5.0以上	上回る	△
+2.0～ +4.9	やや上回る	◇
-1.9～ +1.9	ほぼ同程度	≒
-2.0～ -4.9	やや下回る	◆
-5.0以下	下回る	▼

2. 「%」の比較、表示方法

ポイント差	文言	記号
+5.0%以上	上回る	△
+2.0%～ +4.9%	やや上回る	◇
-1.9%～ +1.9%	ほぼ同程度	≒
-2.0%～ -4.9%	やや下回る	◆
-5.0%以下	下回る	▼

恵庭市における「実技の結果・体格と肥満度に関する調査結果・児童生徒質問紙調査の結果・学校質問紙調査の結果」の実際の結果平均数値については、他市町村等との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表いたしません。
同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表いたしません。

4 北海道の調査結果について

北海道教育委員会としての調査結果報告書については、下記のアドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

北海道（公立）における調査結果報告書
 ⇒ <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/R4tairyokutyousapoint.html>



5 実技の結果

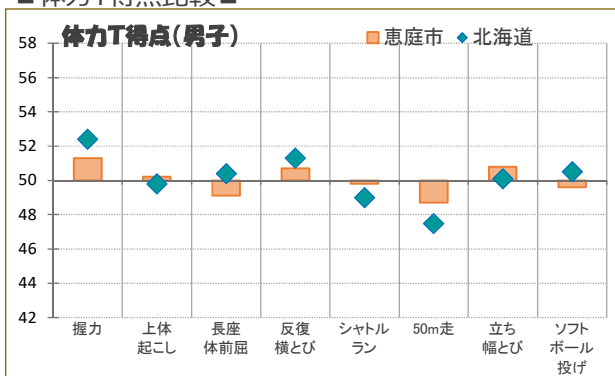
<小学校男子>

- 全種目を通して、全国・全道平均とほぼ同程度である。
- 平成30～令和3年度と比較すると、「20mシャトルラン」は令和3年度の記録をやや上回っている。また「総合評価」については、C・D・E評価の割合が令和3年度より増加しているが、A・B評価の割合が減少している。

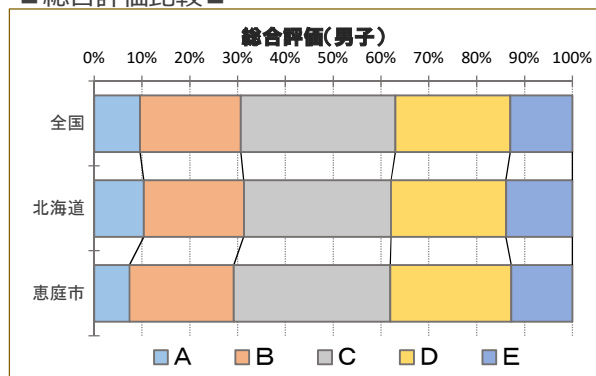
■種目別結果の平均値■

小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
握力 (kg)	16.21	17.15	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	20.31	20.73	≒	≒
上体起こし (回)	18.86	18.72	≒	≒	体力合計点 (点)	52.28	52.23	≒	≒
長座体前屈 (cm)	33.79	34.15	≒	≒	総合評価 (%)	A	9.6%	10.4%	◆
反復横とび (点)	40.36	41.46	≒	≒		B	21.1%	20.9%	≒
20mシャトルラン (回)	45.92	43.92	≒	≒		C	32.3%	30.8%	≒
50m走 (秒)	9.53	9.85	≒	≒		D	24.0%	24.0%	≒
立ち幅とび (cm)	150.83	151.15	≒	≒		E	13.0%	13.9%	≒

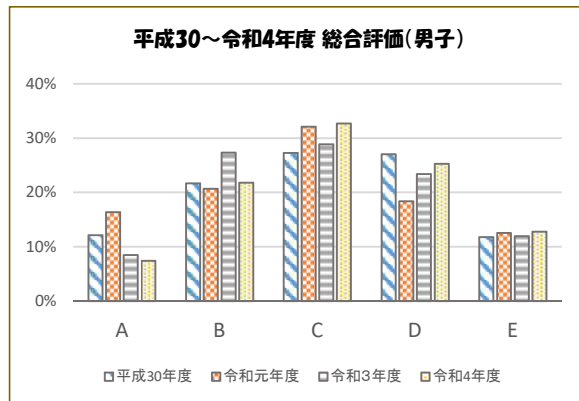
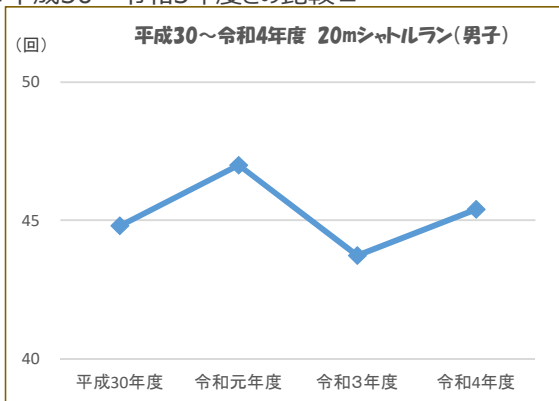
■体力T得点比較■



■総合評価比較■



■平成30～令和3年度との比較■



<小学校女子>

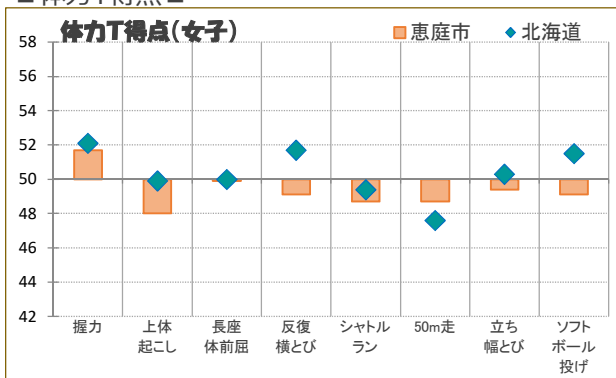
●「20mシャトルラン」が全国平均を、「反復横とび」と「立ち幅とび」が全道平均をやや下回っており、それ以外は全国・全道平均とほぼ同程度である。

●平成30～令和3年度と比較すると、「20mシャトルラン」は令和3年度の記録をやや上回っている。また「総合評価」については、B・C評価の割合が減少しており、D評価の割合が大幅に増加している。

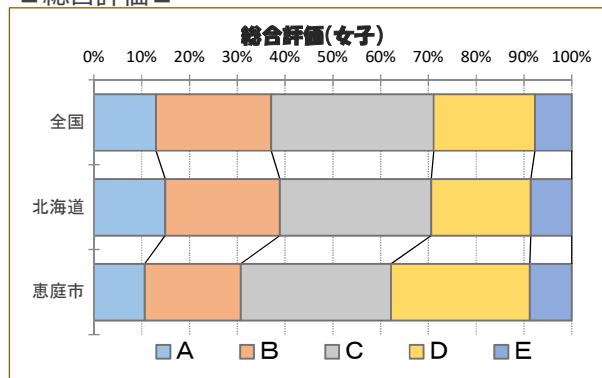
■種目別結果の平均値■

小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	16.10	16.90	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	13.17	13.90	≒	≒	
上体起こし (回)	17.97	17.93	≒	≒	体力合計点 (点)	54.31	54.48	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	38.18	38.14	≒	≒	総合評価 (%)	A	13.0%	14.9%	◆	◆
反復横とび (点)	38.66	39.95	≒	◆		B	24.1%	24.0%	◆	◆
20mシャトルラン (回)	36.97	36.00	◆	≒		C	34.0%	31.7%	◆	≒
50m走 (秒)	9.70	9.94	≒	≒		D	21.2%	20.8%	△	△
立ち幅とび (cm)	144.55	145.16	≒	◆		E	7.7%	8.6%	≒	≒

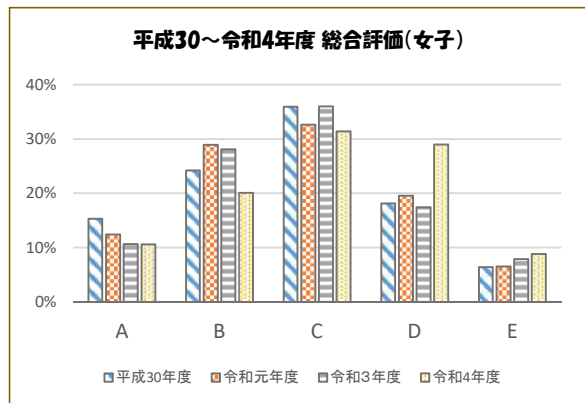
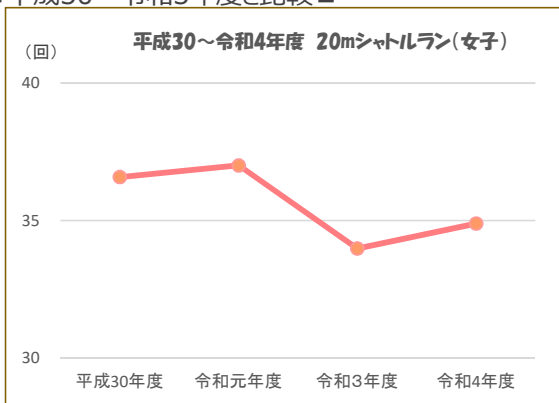
■体力T得点■



■総合評価■



■平成30～令和3年度と比較■



5 実技の結果

<中学校男子>

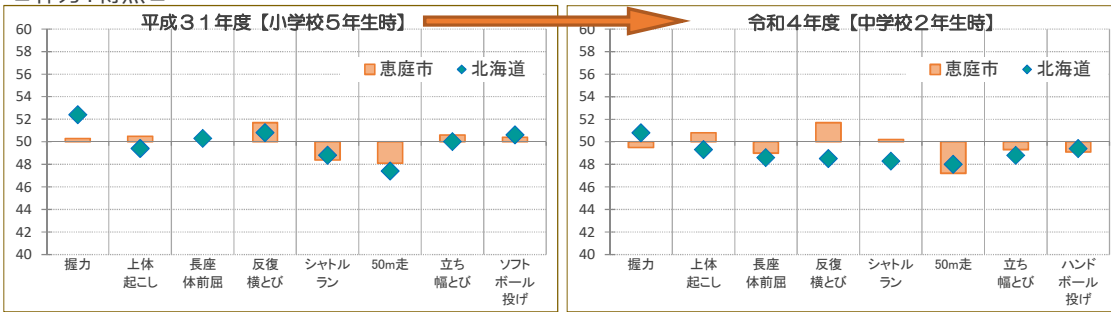
●「反復横とび」「20mシャトルラン」は全道平均をやや上回り、「立ち幅とび」は全国平均をやや下回っており、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

●平成30～令和3年度と比較すると、「体力合計点」は過去3年間と比較して最も高い。また「総合評価」については、B評価の割合が過去3年間と比較して最も高く、A評価の割合は過去3年間と比較して最も低い。

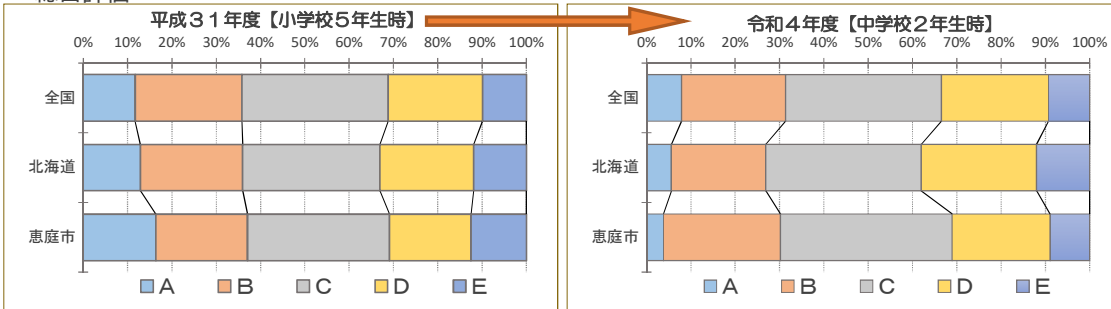
■種目別結果の平均値■

中学校 (男子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校 (男子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	28.99	29.59	≒	≒	ハンドボール投げ (m)	20.28	19.92	≒	≒	
上体起こし (回)	25.74	25.31	≒	≒	体力合計点 (点)	41.04	39.63	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	43.87	42.33	≒	≒	総合評価 (%)	A	7.9%	5.6%	◆	≒
反復横とび (点)	51.05	49.70	≒	◇		B	23.5%	21.3%	◇	△
持久走 (秒)	409.81	431.39	≒	◇		C	35.2%	35.1%	◇	◇
20mシャトルラン (回)	78.07	73.63	≒	◇		D	24.2%	26.0%	◆	◆
50m走 (秒)	8.06	8.28	≒	≒		E	9.3%	12.0%	≒	◆
立ち幅とび (cm)	196.89	193.37	◆	≒	※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略					

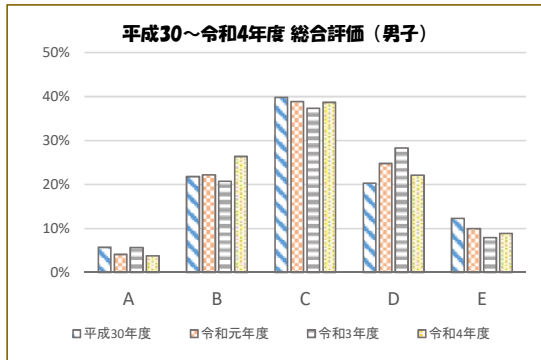
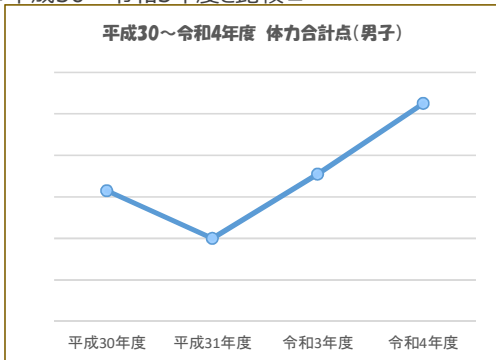
■体力T得点■



■総合評価■



■平成30～令和3年度と比較■



<中学校女子>

●「反復横とび」と「20mシャトルラン」は全道平均をやや上回り、「立ち幅とび」は全国平均をやや下回っているが、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

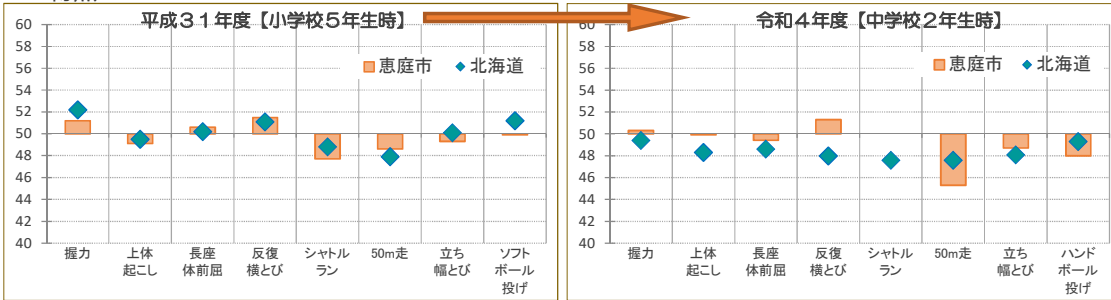
●平成30～令和3年度と比較すると、「体力合計点」は過去3年間の記録を下回っている。また「総合評価」については、C・D評価の割合が過去3年間と比較して最も高く、A評価の割合が最も低い。

■種目別結果の平均値■

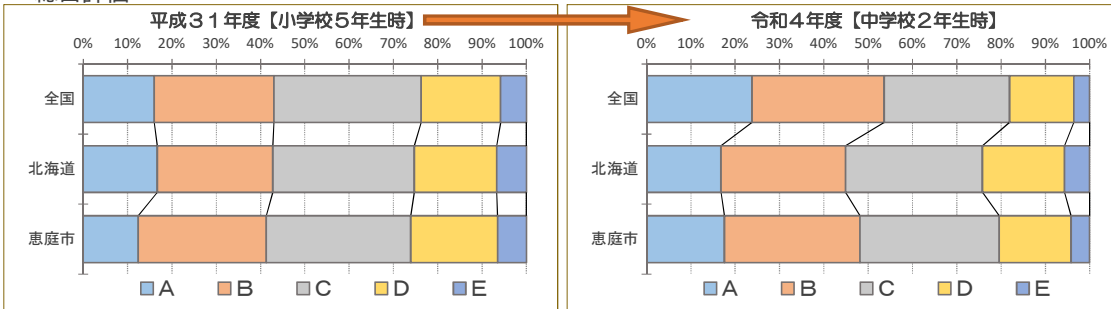
中学校(女子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校(女子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
握力(kg)	23.21	22.93	≒	≒	ハンドボール投げ(m)	12.45	12.16	≒	≒
上体起こし(回)	21.67	20.69	≒	≒	体力合計点(点)	47.42	44.85	≒	≒
長座体前屈(cm)	46.07	44.62	≒	≒	総合評価 (%)	A	23.8%	16.8%	▼
反復横とび(点)	45.81	44.33	≒	◇		B	29.8%	28.1%	≒
持久走(秒)	302.89	313.68	◇	◇		C	28.3%	30.9%	◇
20mシャトルラン(回)	51.60	46.94	≒	◇		D	14.5%	18.5%	≒
50m走(秒)	8.96	9.19	≒	≒		E	3.6%	5.7%	≒
立ち幅とび(cm)	46.27	48.23	◆	≒					

※「持久走」は標本数が少ないため、結果の比較は省略

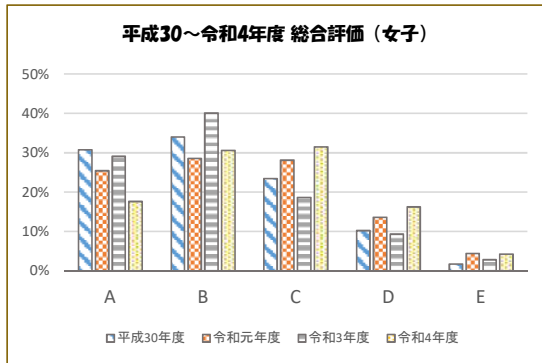
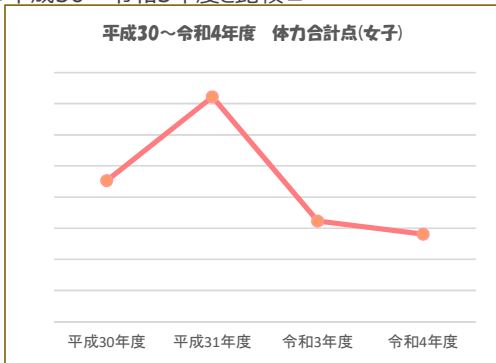
■T得点■



■総合評価■



■平成30～令和3年度と比較■

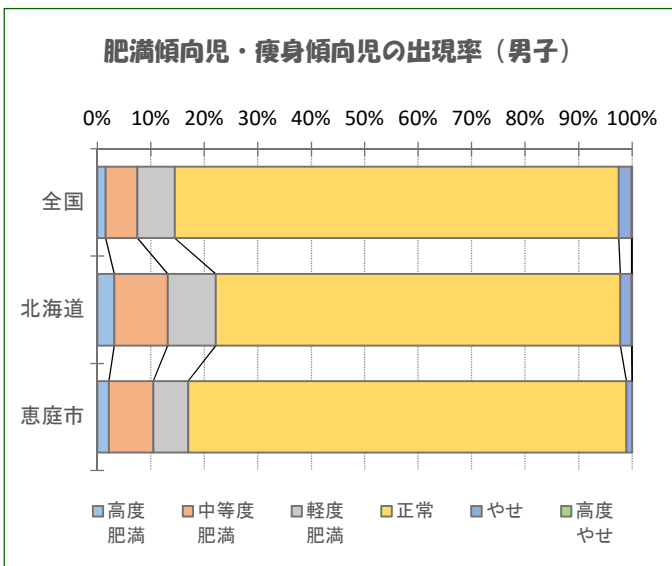


6 体格と肥満度に関する調査結果

<小学校男子>

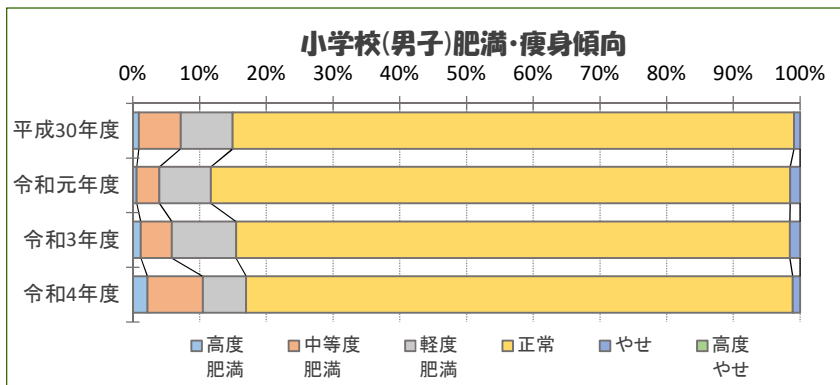
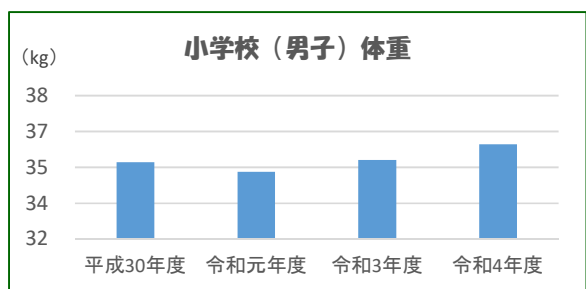
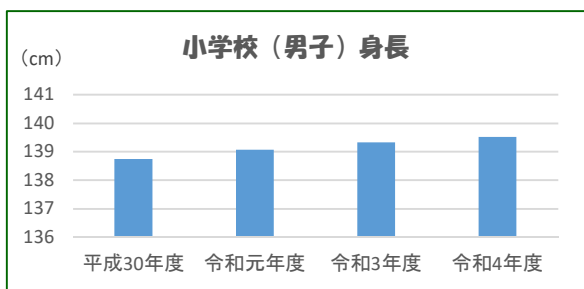
- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「中等度肥満」の割合が全国をやや上回っている。また、「正常」の割合が全道を上回っており、「軽度肥満」の割合がやや下回っている。それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

小学校（男子）		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		139.52	140.07	≒	≒
体重 (kg)		35.51	37.45	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	1.6%	3.2%	≒	≒
	中等度肥満	5.9%	10.0%	◇	≒
	軽度肥満	7.0%	9.0%	≒	◆
	正常	82.9%	75.6%	≒	△
	やせ	2.4%	2.1%	≒	≒
	高度やせ	0.1%	0.1%	≒	≒



■平成30～令和3年度と比較■

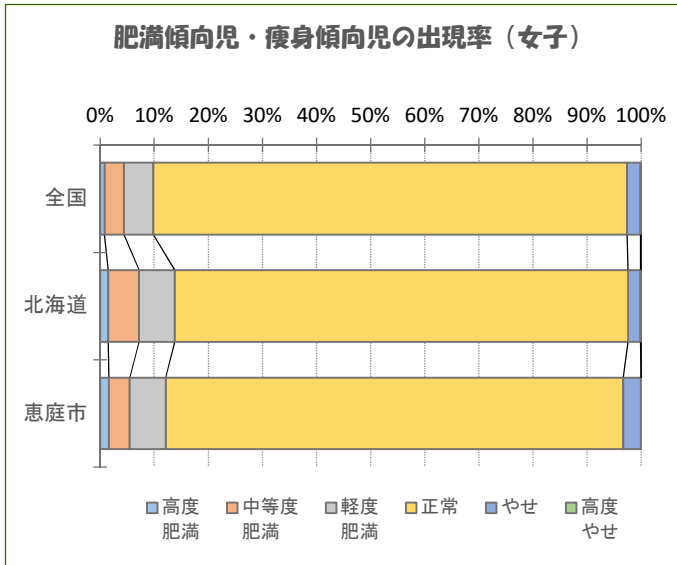
- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともにやや増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、過去3年間と比較して「高度肥満」「中等度肥満」の割合が最も高い。



<小学校女子>

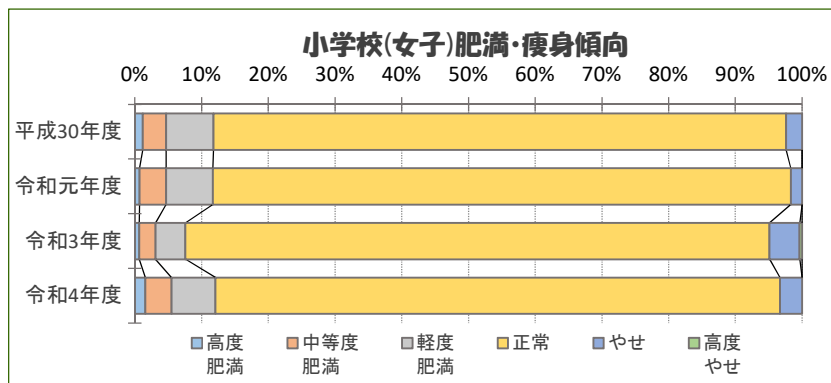
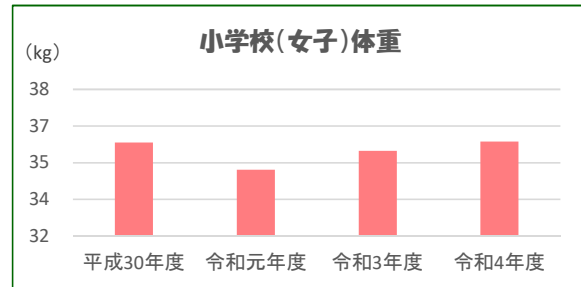
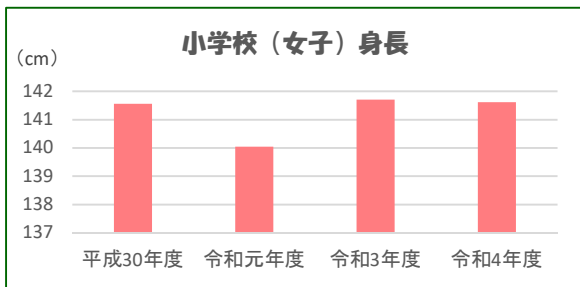
- 全国・全道平均と比較して、「身長・体重」ともにほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全国をやや下回っており、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

小学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		141.30	141.78	≒	≒
体重 (kg)		35.37	36.54	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.8%	1.5%	≒	≒
	中等度肥満	3.6%	5.7%	≒	≒
	軽度肥満	5.4%	6.6%	≒	≒
	正常	87.6%	83.8%	◆	≒
	やせ	2.5%	2.3%	≒	≒
	高度やせ	0.1%	0.1%	≒	≒



■平成30～令和3年度と比較■

- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともに大きな変化はないが、体重がやや増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、「高度肥満」の割合が過去3年間と比較して最も高い。

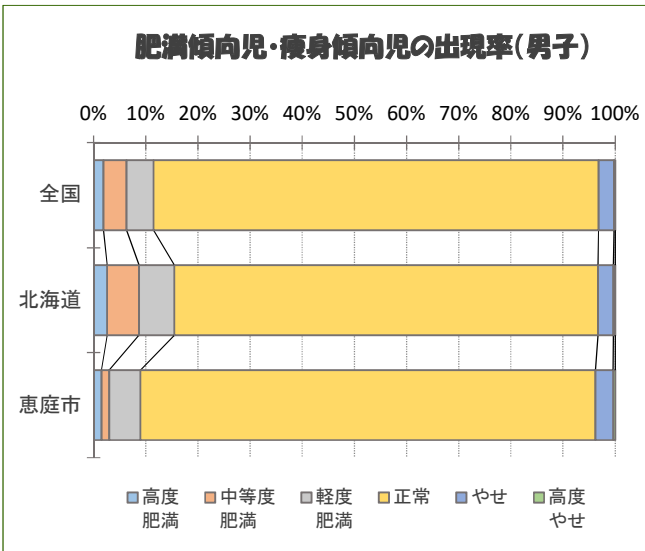


6 体格と肥満度に関する調査結果

<中学校男子>

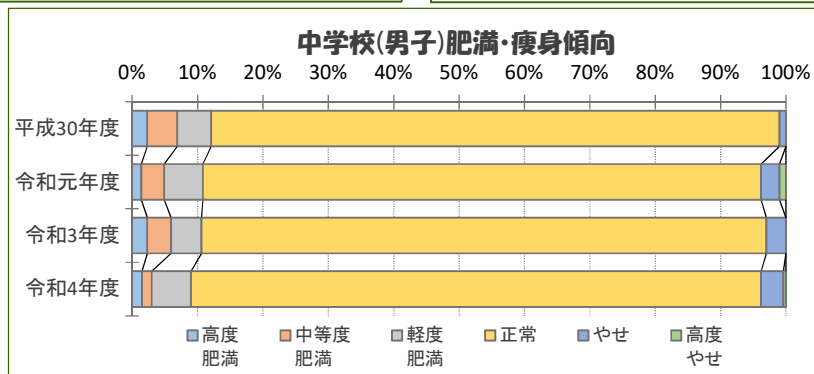
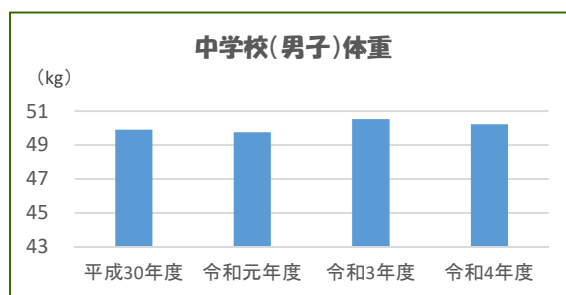
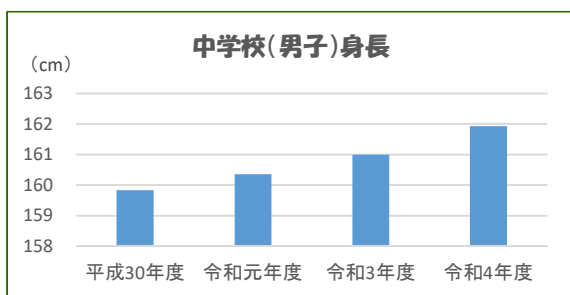
- 全国・全道平均と比較して、体重が全道よりやや低く、それ以外はほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「中等度肥満」の割合が全国・全道をやや下回っており、「正常」の割合が全道を上回っているが、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

中学校(男子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		161.05	161.92	≒	≒
体重 (kg)		50.45	52.30	≒	◆
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	1.9%	2.6%	≒	≒
	中等度肥満	4.4%	6.1%	◆	◆
	軽度肥満	5.2%	6.8%	≒	≒
	正常	85.4%	81.2%	≒	△
	やせ	3.0%	3.0%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.3%	≒	≒



■平成30～令和3年度と比較■

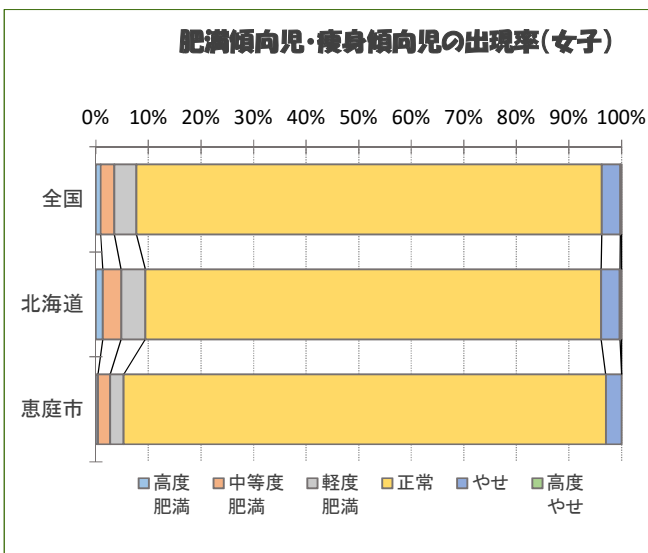
- 過去3年間で比較して、身長が増加傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合は過去3年間で比較して最も高くなっており、「中等度肥満」の割合は過去3年間で比較して最も低い。



<中学校女子>

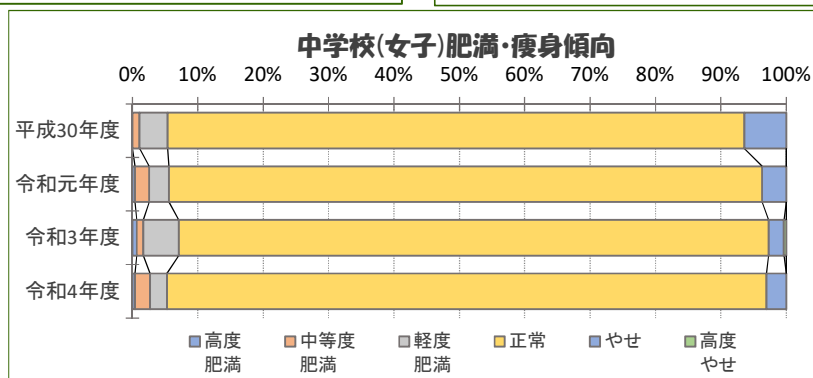
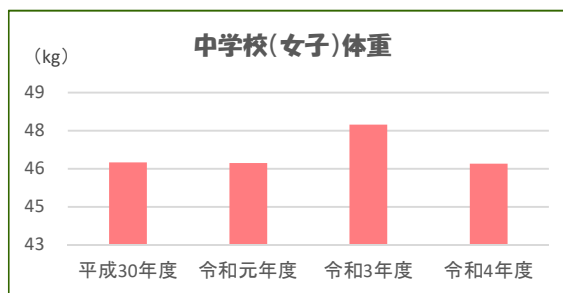
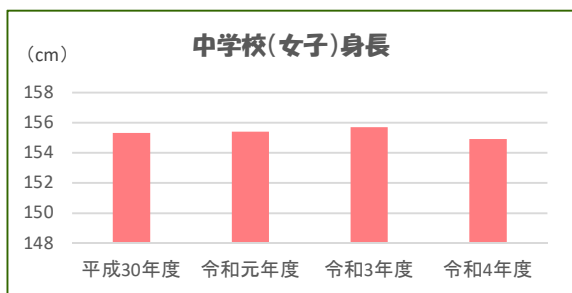
- 全国・全道平均と比較して、身長・体重ともほぼ同程度である。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が全国・全道をやや上回り、それ以外は全国・全道とほぼ同程度である。

中学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		154.92	155.20	≒	≒
体重 (kg)		47.09	47.61	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.9%	1.3%	≒	≒
	中等度肥満	2.6%	3.5%	≒	≒
	軽度肥満	4.2%	4.6%	≒	≒
	正常	88.5%	86.8%	◇	◇
	やせ	3.6%	3.6%	≒	≒
	高度やせ	0.2%	0.3%	≒	≒



■平成30～令和3年度と比較■

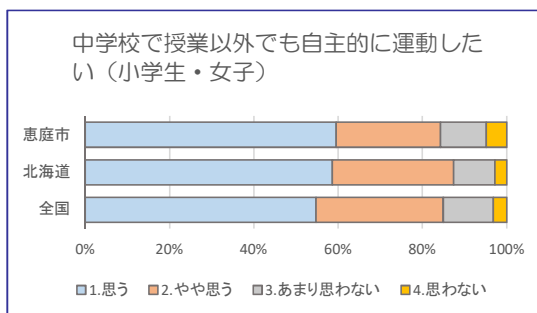
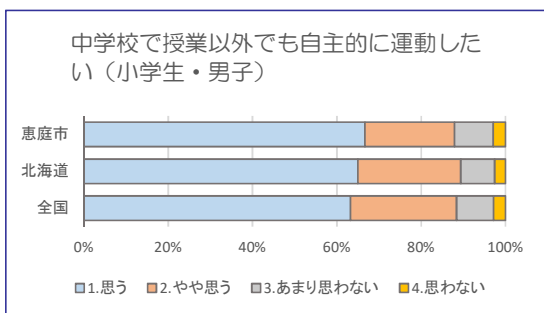
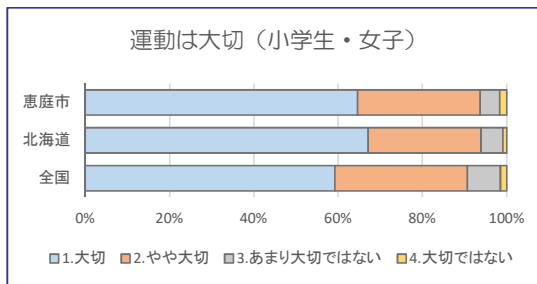
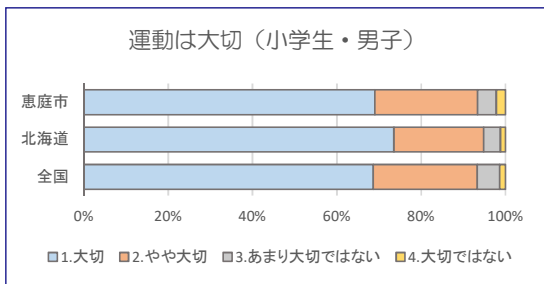
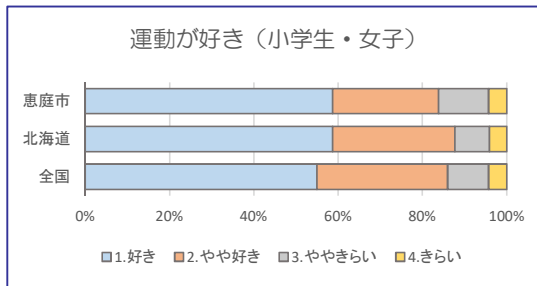
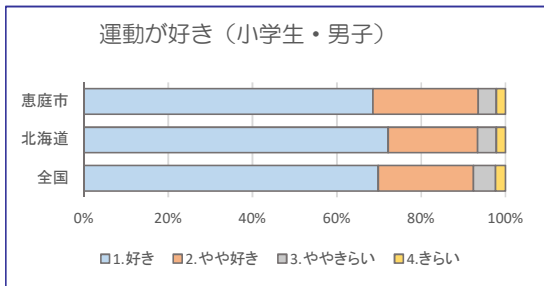
- 過去3年間と比較して、「身長・体重」ともに大きな変化はない。
- 肥満・痩身傾向については、「正常」の割合が過去3年間で最も高く、「軽度肥満」が最も低くなっている。



7 児童生徒質問紙調査の結果（小学校）

運動に対する意識

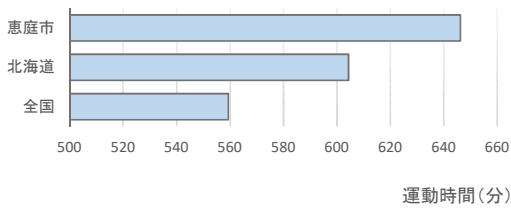
- 運動が「好き」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子が同程度、女子がやや上回っている。
- 運動が「大切」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子が同程度、女子がやや上回っている。
- 中学校で授業以外でも自主的に運動したいと「思う」と回答した割合について、男女ともに全国平均をやや上回っている。



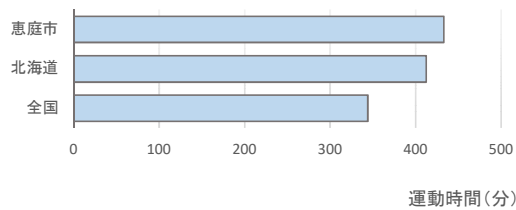
運動習慣について

- 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を比較すると、男女ともに全国平均を大きく上回っている。
- 運動部やスポーツクラブの所属について、「入っていない」と回答した割合は、男女で比較すると女子が大きく上回っている。また、全国と比較して、いずれかに所属していると回答した割合は、全国平均を下回っている。
- 運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動をすることについて、男女ともに「よくある」「ときどきある」と回答した割合が全国平均をやや上回っている。

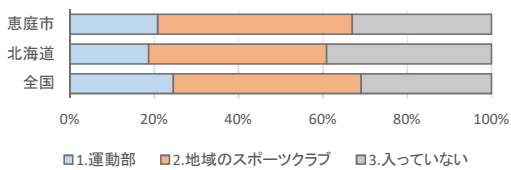
1週間の総運動時間（小学生・男子）



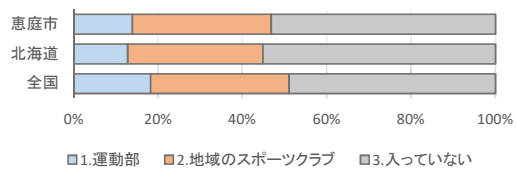
1週間の総運動時間（小学生・女子）



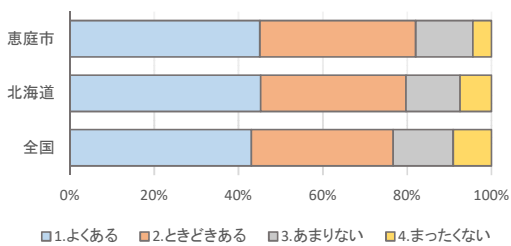
運動部やスポーツクラブの所属
※複数回答可（小学生・男子）



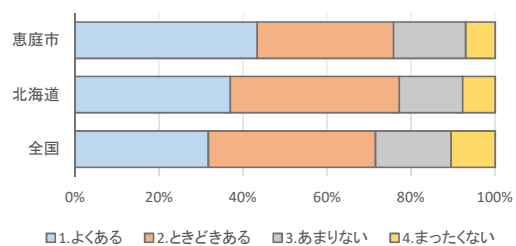
運動部やスポーツクラブの所属
※複数回答可（小学生・女子）



運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動をすること（小学生・男子）



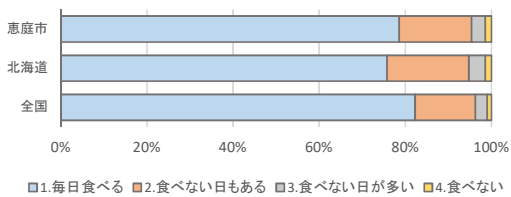
運動部や地域のスポーツクラブ以外で運動をすること（小学生・女子）



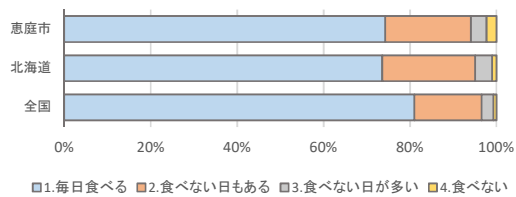
生活習慣について

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合については、全国平均と比較すると男女ともに下回っているが、全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。
- 1日の睡眠時間については、全国平均と比較して、「8時間以上」と回答した割合が男女ともにやや上回っている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、「5時間以上」と回答した割合が、全国平均と比較して、男子で同程度だが、女子は上回っている。

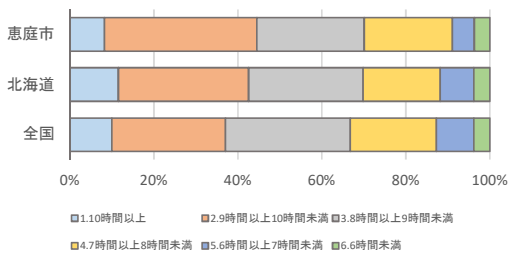
朝食を食べる（小学生・男子）



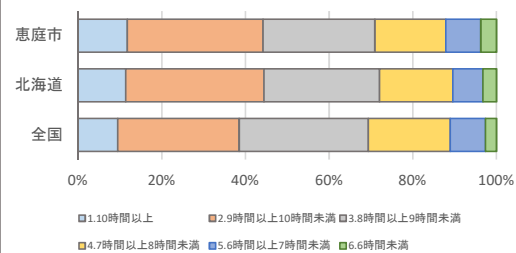
朝食を食べる（小学生・女子）



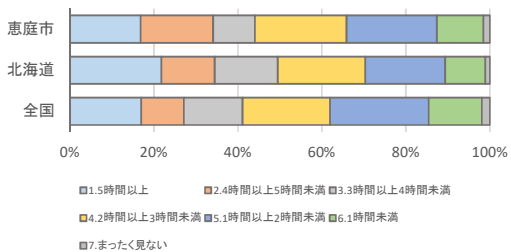
1日の睡眠時間（小学生・男子）



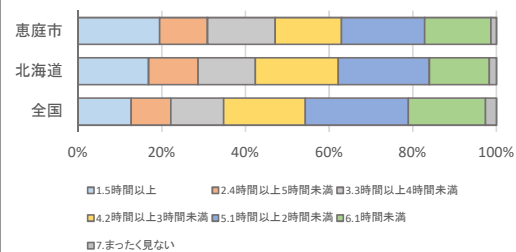
1日の睡眠時間（小学生・女子）



平日の視聴時間（小学生・男子）

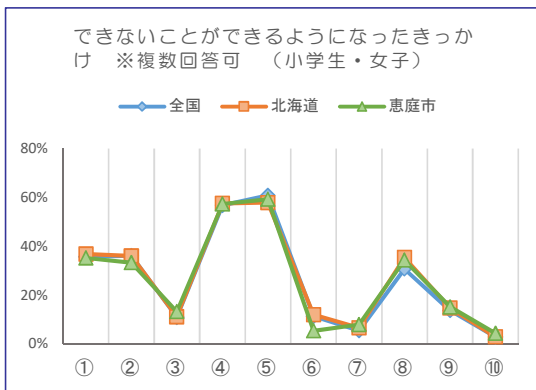
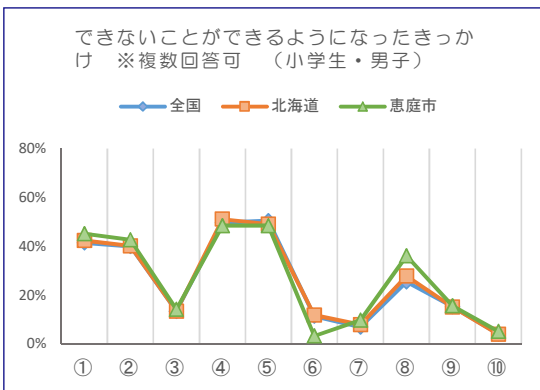
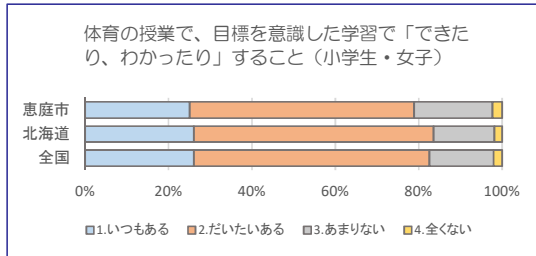
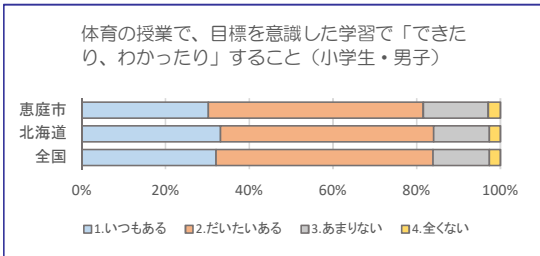
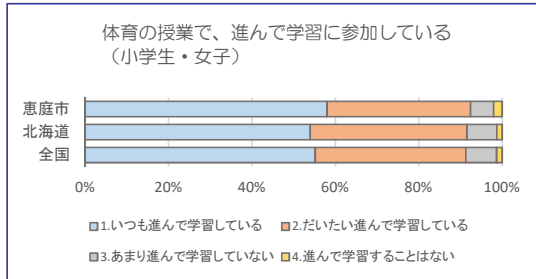
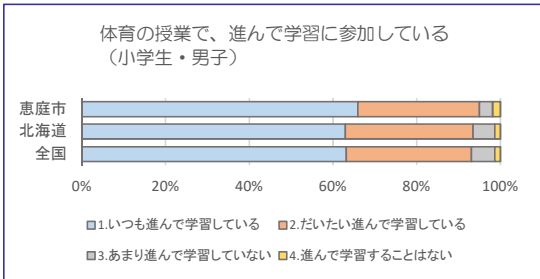
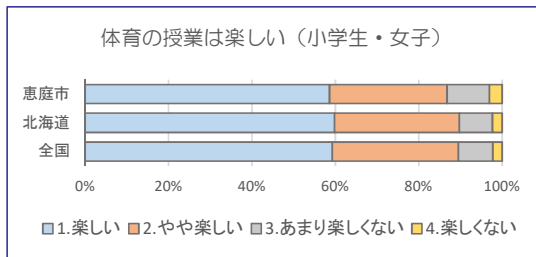
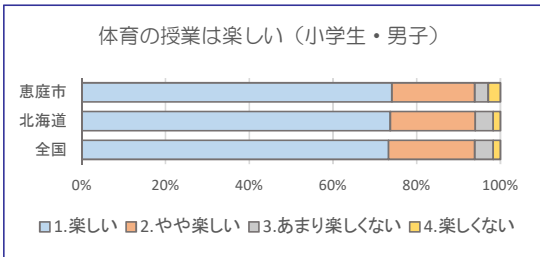


平日の視聴時間（小学生・女子）



体育の授業について

- 体育授業が「楽しい」と回答した割合は、男女ともに全国・全道平均と同程度の割合である。
- 体育授業で「進んで学習している」と回答した割合は、男女ともに全国・全道平均をやや上回っている。
- 体育授業で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、全国平均と比較して、男子でやや下回っており、女子は同程度となっている。
- できないことができるようになったきっかけとして、男女ともに「先生や友達のまねをしてみた」又は「友達に教えてもらった」と回答した割合が、最も高くなっている。

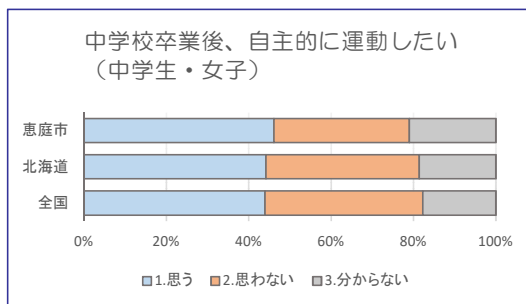
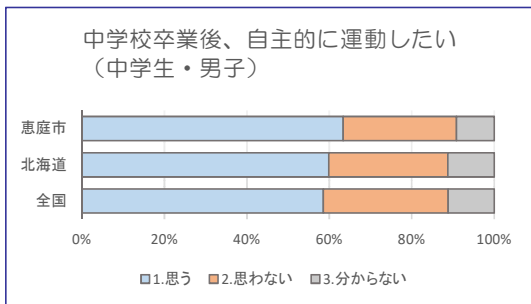
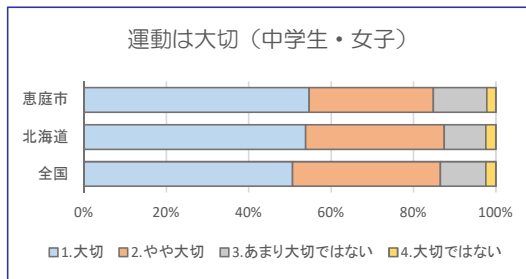
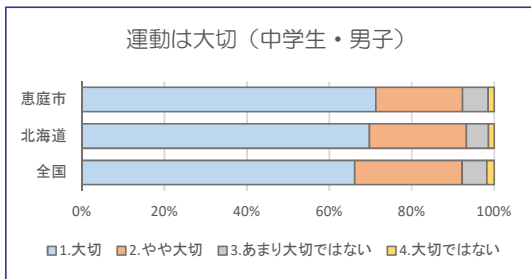
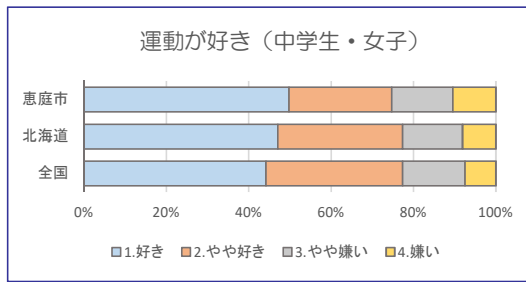
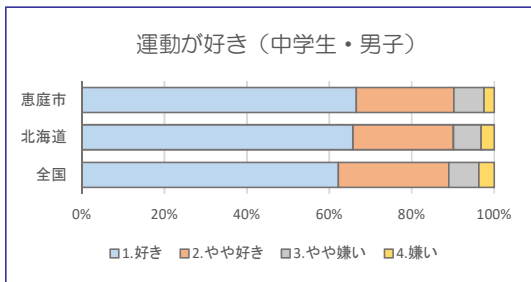


- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ① 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった | ② 授業中に自分で工夫した |
| ③ 自分に合った場やルールが用意された | ④ 先生や友達のまねをしてみた |
| ⑤ 友達に教えてもらった | ⑥ 授業中に自分の動きを動画で見た |
| ⑦ 授業外に先生に教えてもらった | ⑧ 授業外に自分で練習した |
| ⑨ 授業外に本や動画を見た | ⑩ できるようになったことがない |

7 児童生徒質問紙調査の結果（中学校）

運動に対する意識

- 運動が「好き」と回答した割合について、男女ともに全国平均を上回っている。
- 運動が「大切」と回答した割合について、男女ともに全国平均を上回っている。
- 中学校卒業後、自主的に運動したいと「思う」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。

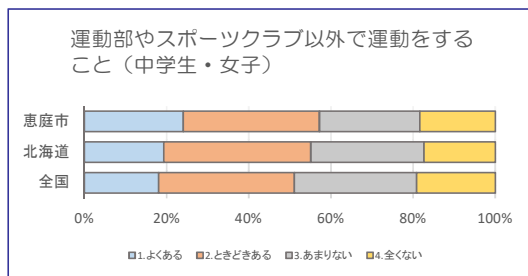
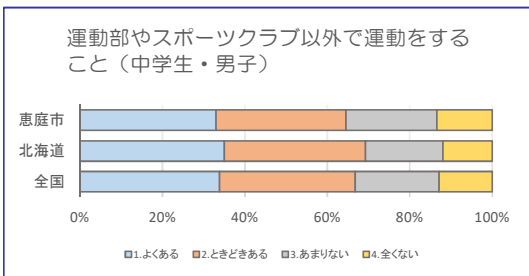
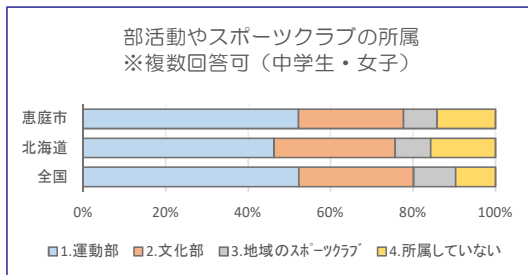
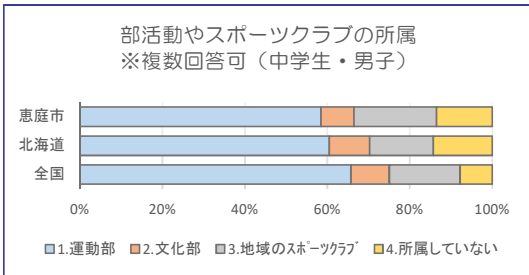
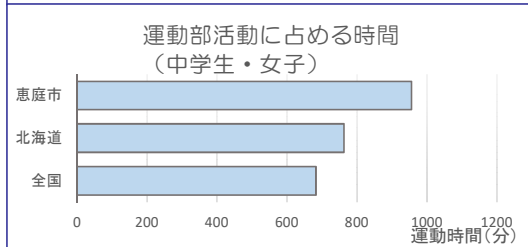
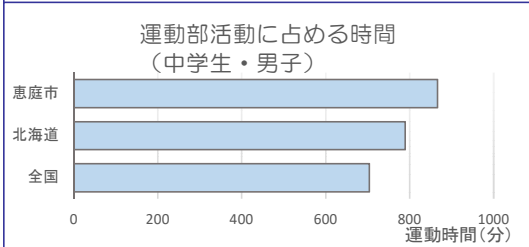
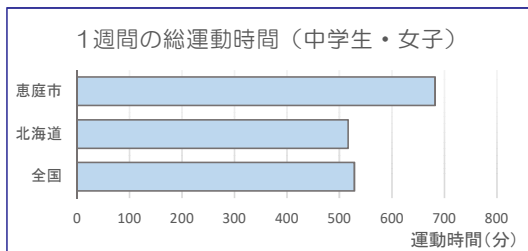
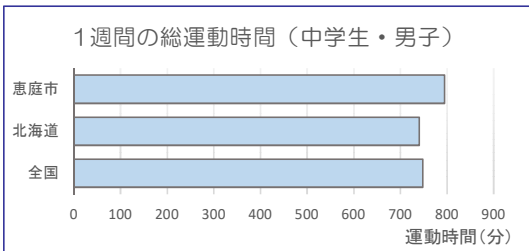


運動習慣について

㊦ 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を全国・全道平均と比較すると、男女ともに上回っている。また、運動部に所属している生徒の部活動に占める時間は、男女ともに全国・全道平均を上回っている。

㊦ 部活動やスポーツクラブの所属について、「運動部」に所属していると回答した割合は、男子は全国・全道平均を下回っており、女子は全道平均を上回っており、全国平均と同程度である。

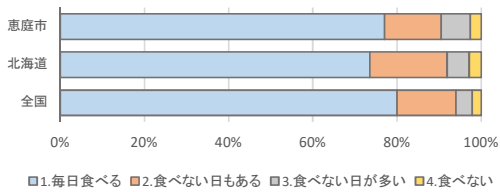
㊦ 運動部やスポーツクラブ以外で運動をすることが「よくある」と回答した割合について、男子は全国平均と同程度だが、女子は上回っている。



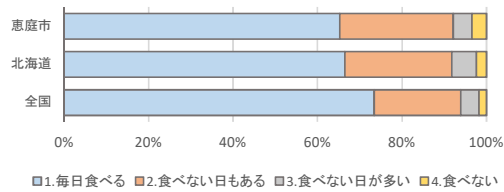
生活習慣について

- 朝食を「毎日食べる」と回答した割合について、男女ともに全国平均を下回っている。
- 1日の睡眠時間については、男女ともに「7時間以上8時間未満」と回答した割合が最も多い。睡眠時間が「7時間以上」と回答した割合が、男女ともに全国平均と同程度となっている。
- 平日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコン等の視聴時間について、男女ともに「3時間以上」と回答した割合が、全体の半分程度となっている。

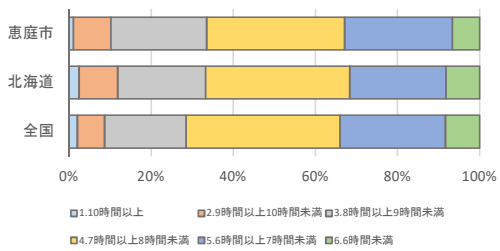
朝食を食べる（中学生・男子）



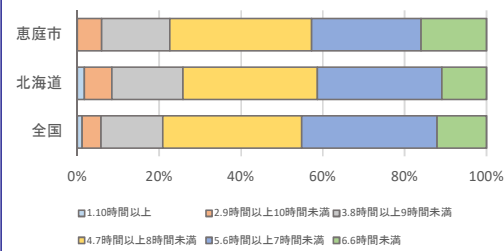
朝食を食べる（中学生・女子）



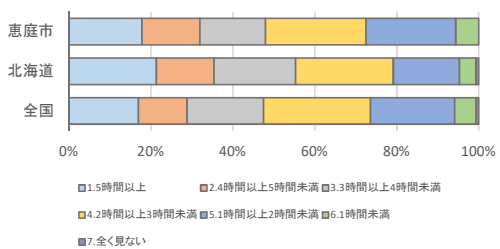
1日の睡眠時間（中学生・男子）



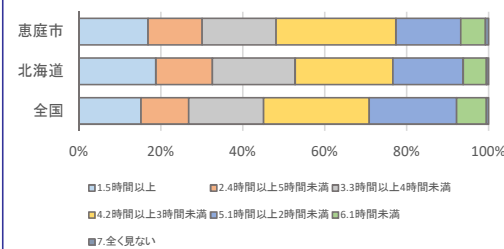
1日の睡眠時間（中学生・女子）



平日の視聴時間（中学生・男子）



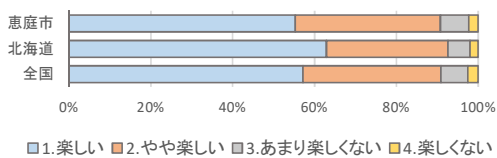
平日の視聴時間（中学生・女子）



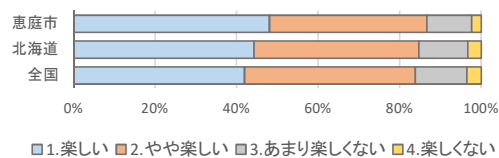
保健体育の授業について

- 保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると男子は下回っており、女子は上回っている。
- 保健体育授業で「進んで学習する」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると男子は同程度であり、女子はやや下回っている。
- 保健体育授業で「できたり、わかったりすることがいつもある」と回答した割合は、全国平均と比較して、男子で下回っており、女子は同程度となっている。
- できないことができるようになったきっかけとして、男女ともに「友達に教えてもらった」と回答した割合が最も高くなっている。

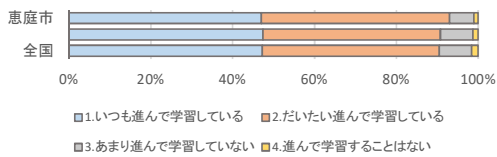
保健体育の授業は楽しい（中学生・男子）



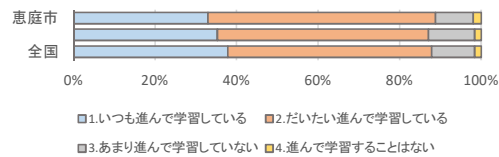
保健体育の授業は楽しい（中学生・女子）



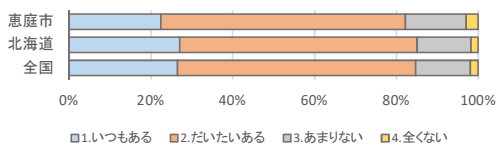
保健体育授業で、進んで学習に参加している（中学生・男子）



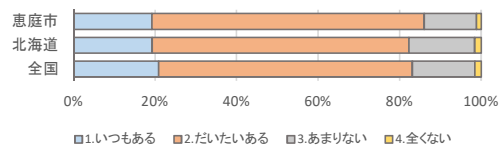
保健体育授業で、進んで学習に参加している（中学生・女子）



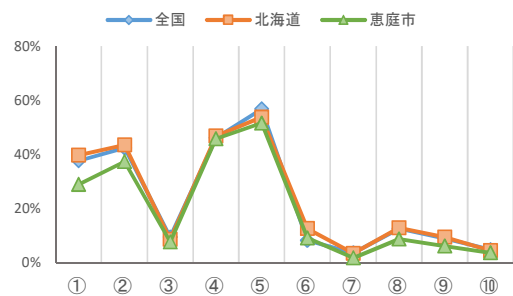
保健体育授業で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・男子）



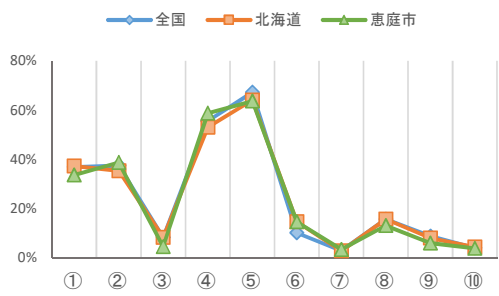
保健体育授業で目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること（中学生・女子）



できないことができるようになったきっかけ ※複数回答可（中学生・男子）



できないことができるようになったきっかけ ※複数回答可（中学生・女子）



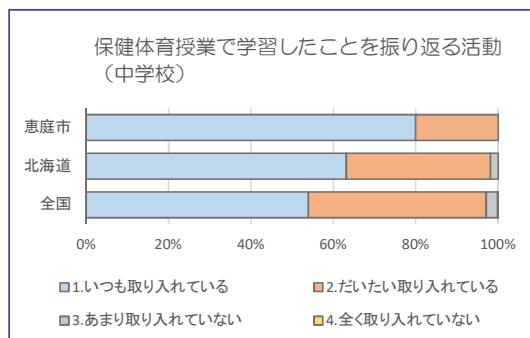
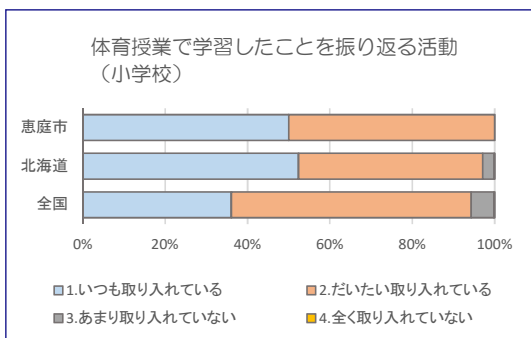
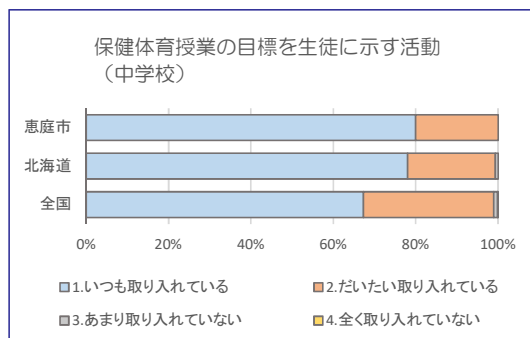
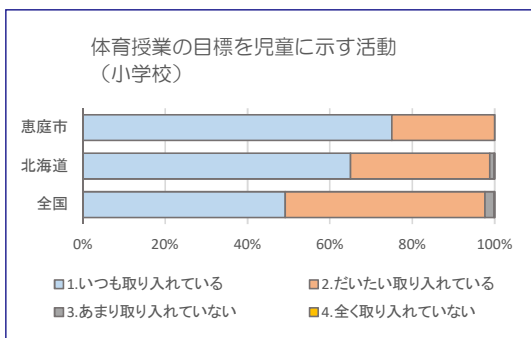
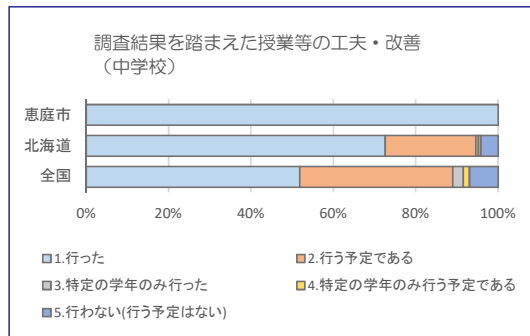
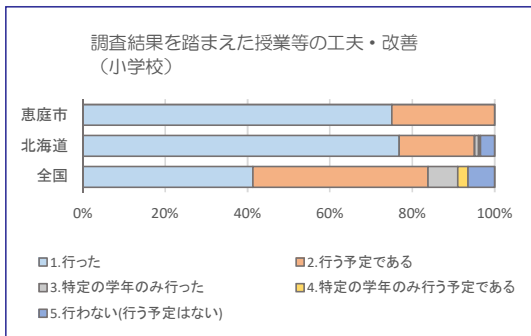
- ①授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- ②授業中に自分で工夫した
- ③自分に合った場やルールが用意された
- ④先生や友達のまねをしてみた
- ⑤友達に教えてもらった
- ⑥授業中に自分の動きを動画で見た
- ⑦授業外に先生に教えてもらった
- ⑧授業外に自分で練習した
- ⑨授業外に本や動画を見た
- ⑩できるようになったことがない

- ②授業中に自分で工夫した
- ④先生や友達のまねをしてみた
- ⑥授業中に自分の動きを動画で見た
- ⑧授業外に自分で練習した
- ⑩できるようになったことがない

8 学校質問紙調査の結果 (小・中学校)

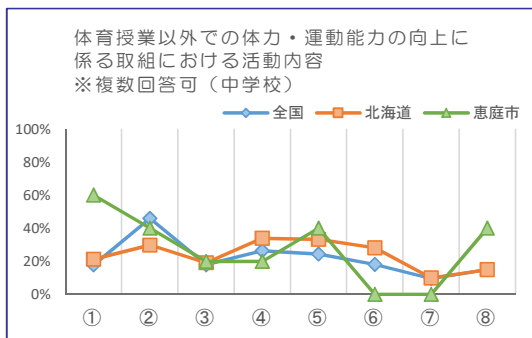
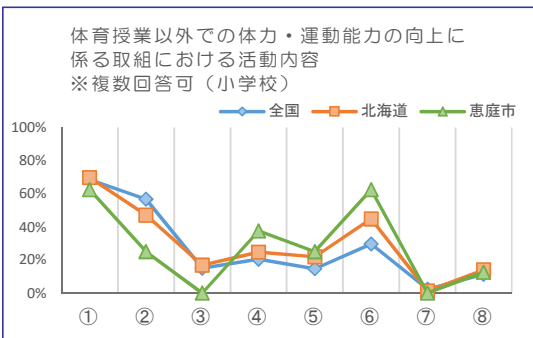
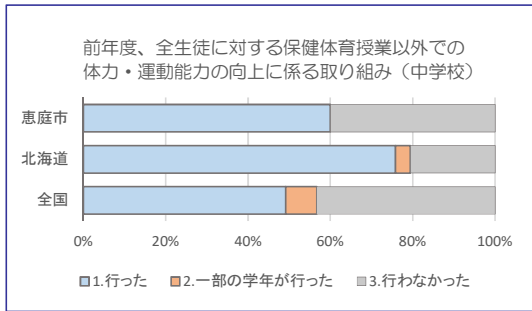
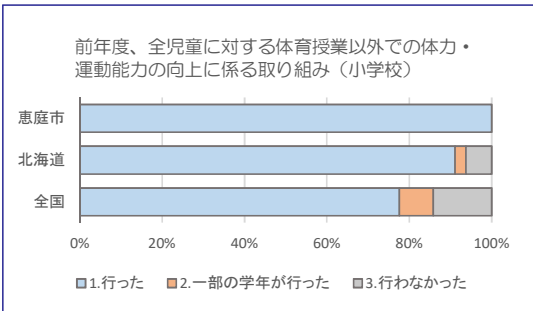
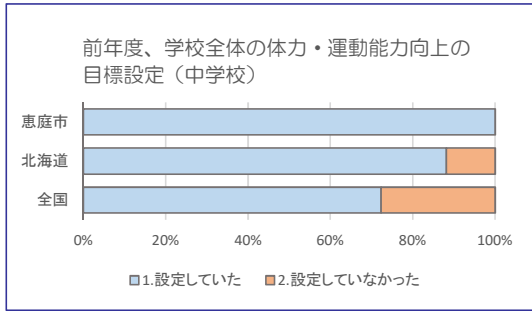
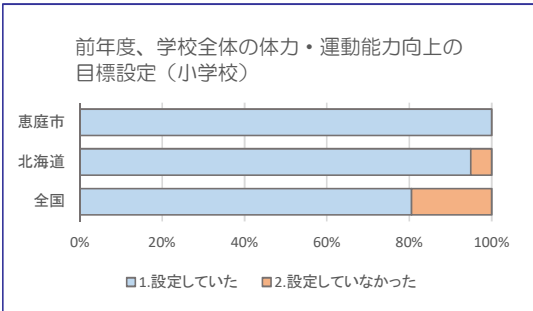
保健体育授業について

- 調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を「行った」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を大きく上回っている。
- 保健体育授業の目標を児童生徒に示す活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。
- 保健体育授業で学習したことを振り返る活動を「いつも取り入れている」と回答した割合は、小学校・中学校ともに全国平均を上回っている。

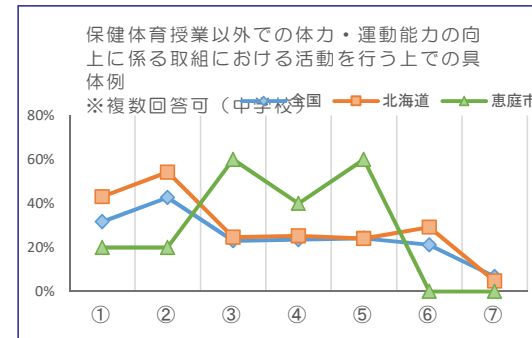
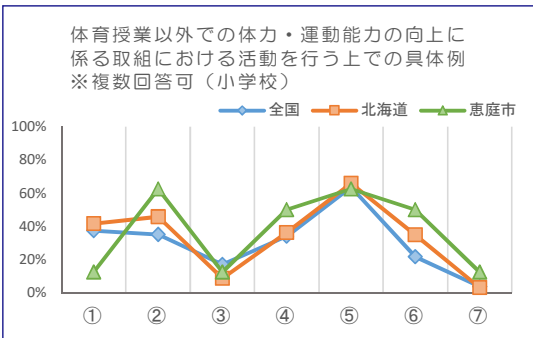


保健体育授業以外の取り組みについて

●前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標を「設定していた」と回答した学校は、小・中学校ともに100%であり、全国平均を上回っている。
 ●前年度、全児童生徒に対する保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を「行った」と回答した割合について、小・中学校ともに全国平均を上回っている。取組の内容として、小学校では「縄跳び」「運動遊び」が、中学校では「縄跳び」「複合した活動」を行ったという回答が多かった。また、小学校では児童が自主的な計画作りや数値目標を設定する割合が、中学校では対戦や成果の記録を実施する割合が比較的多く、児童生徒が取り組みやすい環境づくりを進めている。



①縄跳び ②ランニング ③体操 ④ボール運動・球技 ⑤複合した活動 ⑥運動遊び ⑦特定していない ⑧その他

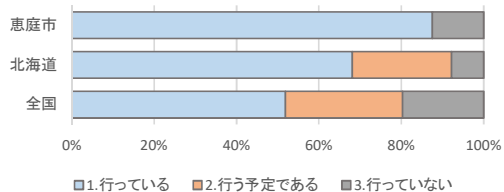


①縦割り（異学年）での交流を行った ②児童/生徒による自主的な準備・計画を取り入れた ③学級対抗などの対戦形式を取り入れた
 ④数値目標を設定した ⑤記録カードなどを活用し自己の成果を記録した ⑥児童/生徒が行える運動遊びの種類を多く設定した ⑦その他

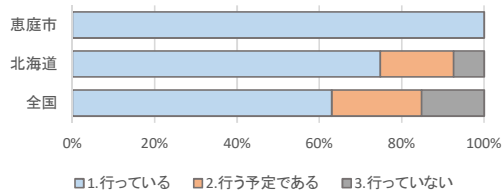
指導方法の改善等について

- 運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組を「行っている」と回答した割合は、小・中学校ともに全国・全道平均を上回っている。
- 研修や研究会に参加し、取組に反映しているかについて、「よくしている」と回答した割合は小学校で全国平均と同程度だが、中学校では大幅に上回っている。

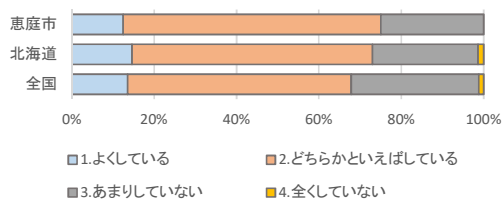
運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組（小学校）



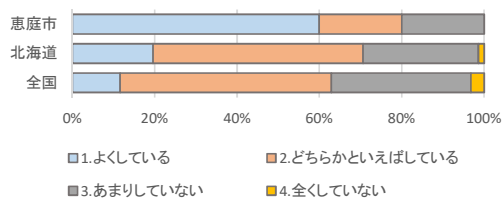
運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組（中学校）



研修や研究会に参加し、体力・運動能力の向上に係る取組に反映（小学校）



研修や研究会に参加し、体力・運動能力の向上に係る取組に反映（中学校）



「新体カテスト」の実施状況について

- 恵庭市では、小学校において8校中7校が全学年で実施しており、「4・5年生」は全ての学校で実施している。中学校においては、5校中4校が全学年で実施しており、「2年生」は全ての学校で実施している。

※「新体カテスト」・・・文部科学省が国民全体の体力・運動能力調査として策定・実施している体カテストのこと。今回の調査とは異なる。